



き

輝なんせ鳥取

2010.6
第14号

男女共同参画啓発講座

今年度も様々な講座を開催する予定です。(関連記事5ページ)



託児もあります

目次

■ 編集委員の「輝なんせ鳥取」 講座受講つれづれ記 …………… 2	■ 男女共同参画についての意識調査 …………… 3・4
■ 登録団体紹介 「鳥取ダンス協会」 …………… 2	■ 平成21年度 「輝なんせ鳥取」啓発講座 …………… 5
■ 「輝なんせ鳥取」 図書・情報コーナーのご案内 …………… 2	■ 訪問取材「おじゃましま〜す」 「社会福祉法人鳥取県厚生事業団」 …………… 6



- * 講座名 男女共同参画基礎講座
『男女共同参画ってなあに？
～お互いを尊重し合える対等なパートナーシップへ～』
- * 講師 社会心理学講師・カウンセラー 市場 恵子さん
- * 日時 平成22年3月2日(火曜日) 午後1時30分～午後3時30分

男女共同参画社会基本法が出来十年の月日が経ったにもかかわらず、今でも男だから、女だからと巷では根付いています。

いろいろな法律が改正されているが、そのことが国民に啓発されていない様に感じた。

また、家庭においても、DVがあり、なぜなぜと疑問が湧いてくる。ジェンダーチェックを見ても、根本の考え方が違う!! 先入観や思い込みを物差しの尺度にして考えるという事をやめなければいけないと講演をとおして痛感した。原点に戻って、もう一度男女共同参画を認識すべきだ。

市場恵子先生のすばらしい歌声(手話あり)ユーモアあり、ホッとする瞬間安らぎのひと時でした。

(出村)

市場恵子先生は、歌を交えながら“男女共同参画”について分かりやすく親しみやすく話をされました。

日常の何気ない会話の中にもジェンダーの存在が発見できるし、社会構造の中にも存在することは明らかです。

世界の人口の半分を女性が占めているにもかかわらず、収入は十分の一、不動産所有は百分の一、日本におけるDV被害は三人に一人、殺されるかもと思った人が実に二十人に一人というのは驚きだ。日本の男女平等への歴史を伺いながら、世界から立ち遅れているなと思いました。

女は女らしく男は男らしくという固定的な見方をするとき、一番大切な自分らしさが見失われてしまうのではないか。日々を新しい視点で省みる良い機会となりました。

(岸本)

登録団体紹介

『鳥取市ダンス協会』



平成20年4月16日に登録団体になり、早2年になります。

ダンスワークショップを中心に活動した結果、

延べ200人の参加者が集まり未知のダンスの世界を経験して頂き、とてもやりがいを感じています。

20年度には、「ハーモニーフェスタ」のオープニングとしてダンスデビューさせていただけたことは、ダンスの普及につながり、成果の一つとして嬉しく思います。

また「環境シンポジウム」や、「環食バラ色テーブル」の会場などでダンスパフォーマンスを繰り広げたり、会場の皆さんと一体となって踊ったりして、ダンスの楽しさを伝えることができました。今年も歩を止めることなく熱意を持って活動したいと思います。

男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」

図書・情報コーナーのご案内

「輝なんせ鳥取」では男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDの貸し出し、閲覧ができます。

本は474冊、ビデオ・DVDは64本所蔵しています。

年末年始及び休館日以外は土・日も貸し出しています。是非ご利用ください。

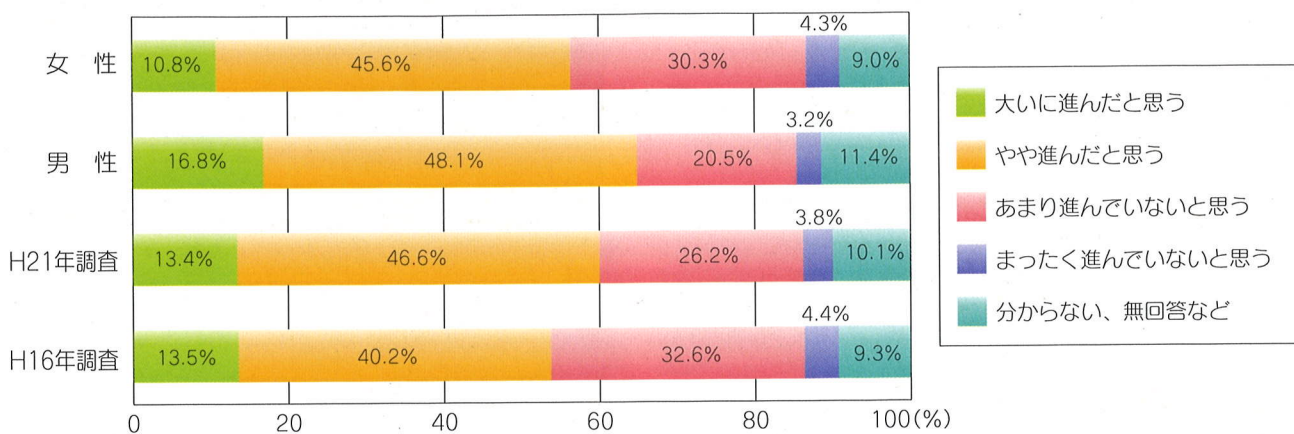


男女共同参画についての意識調査

昨年末、鳥取市では男女共同参画についての意識調査を行いました。調査は書類の郵送によるアンケートで行われ、男女共同参画課にはたくさんの返事をお寄せいただきました。このページでは、その一部をご紹介しますと思います。

※紙面のスペースの関係上、質問・回答内容やパーセンテージを一部簡略化してあります。

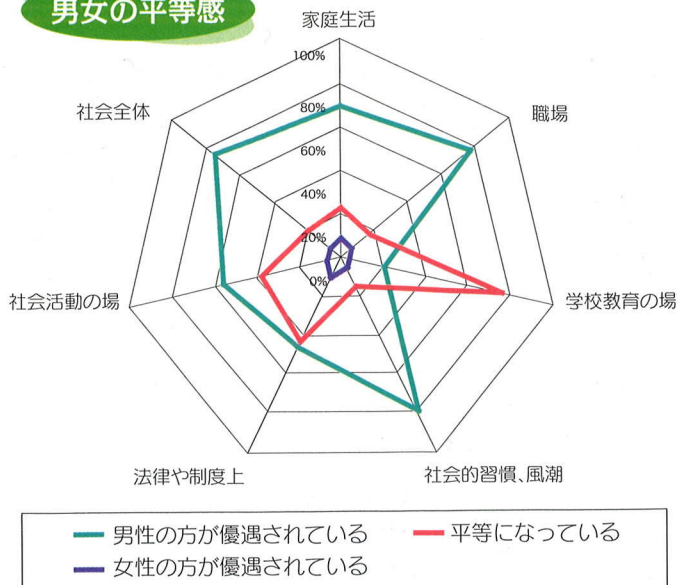
問い 10年前に比べて、男女平等が進んだといわれていますが、あなたはどのように思いますか。



女性の「大いに／やや進んだと思う」は男性よりも8.5ポイント低く、男女の間で認識に差異があるようです。結果として男性向けの啓発の必要性が感じられます。全体としては、5年前に比べて「大いに／やや進んだと思う」の割合が6.3ポイント高くなっており、大きくはありませんが着実な意識の変化がうかがえます。

問い 次の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。

男女の平等感



分野別にみる男女の平等観は？

回答率	男性の方が優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	計
家庭生活	69%	22.90%	8.10%	100%
職場	76.70%	17.40%	5.90%	100%
学校教育の場	20.80%	75.20%	4%	100%
社会的習慣、風潮	79.30%	15.40%	5.30%	100%
法律や制度上	46.60%	43%	10.40%	100%
社会活動の場	55.30%	38%	6.70%	100%
社会全体	74.60%	19.60%	5.80%	100%

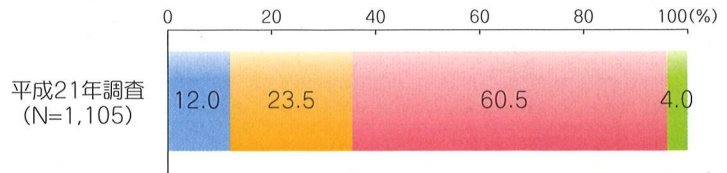
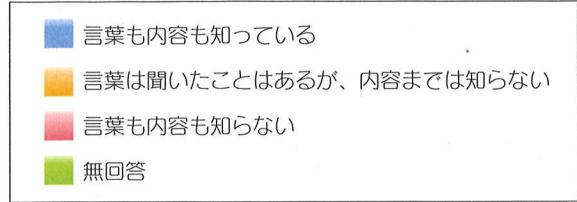
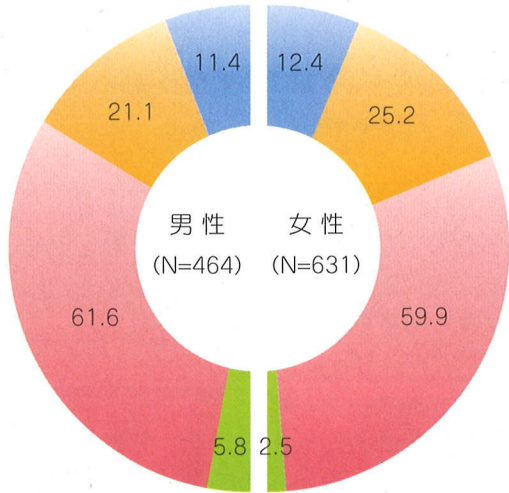
「わからない」と無回答を除いた有効回答について、「非常に優遇されている」と「どちらかといえば優遇されている」を男女別に合計しています。

ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランスの認知度

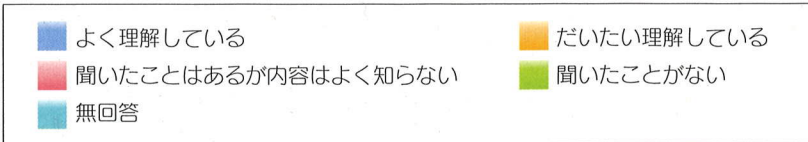
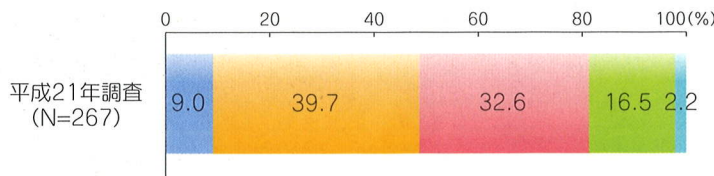
市民

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。



企業

「ワーク・ライフ・バランス」について知っていますか。



ワーク・ライフ・バランスについて、企業では48.7%とおよそ半分が理解しているが、市民では「言葉も内容も知らない」が60%以上もあり、まだ認知度が低いようです。

「ワーク・ライフ・バランス」とは

「仕事と生活の調和」と訳され、『仕事、家庭生活、地域生活、個人の啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態』のことです。

これにより、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいて、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて、多様な生き方が選べる社会となります。

この取り組みを進めるため、平成19年12月、内閣府において「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」、「仕事と生活調和のための行動指針」が策定されました。

「輝なんせ鳥取」啓発講座 (予定)

「輝なんせ鳥取」では、男女共同参画に関する啓発講座を開催しています。平成22年度は以下のとおり開催する予定ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

詳細は、「市報」や「ホームページ」で案内します。

講座名	開催回数	開催時期	講座の内容と目的
パソコン講座	4回連続×2講座	6月	女性のパソコン技術の習得を支援し、女性の就労、社会参画を促進する。
わくわく男性塾	2回	7月 8月	家庭の中での男女共同参画や仕事と家庭との両立を促進するとともに男性の生き方の再発見を支援する。
できる！男の料理教室	4回	7月・9月 12月・2月	男性の料理教室をとおして、男性の料理技術向上を図り、家事への参画を促進することにより、男女共同参画意識を高める。
見て・聞いて学ぶ 楽しい子育て講座	1回	10月	子育て中の母親に対し、こそだてに関する具体的な知識の提供を行い、子どもたちが健やかに生まれ育つための環境づくりの促進を図る。
男女共同参画基礎セミナー	1回	10月	男女共同参画について基礎知識を習得することにより、男女共同参画意識を高める。
いきいき女性塾	2回	11月	女性の心と身体の悩みを解決するとともに、法律の知識と生き方を学び、いきいきと生活できるための支援を行う。
新ステップアップセミナー	4回連続×1講座	9月	自分自身の日々の生活を見つめ直し新たな能力の発見・向上を支援する。
DV防止セミナー	2回	10月	DV・児童虐待について理解を深め、暴力は人権侵害であり、犯罪でもあることの啓発を行う。
女性のリーダー研修	1回	11月	市政への参加の意義と審議会について学び、女性の政策・方針決定過程への参画を促進する。

訪問取材 “おじゃましま〜す”

今回は “社会福祉法人 鳥取県厚生事業団” を訪問しました

社会福祉法人鳥取県厚生事業団は、昭和45年3月に設立され、平成17年度より鳥取県から独立し、現在 障がい者・高齢者施設15ヶ所、グループホーム・ケアホーム34ヶ所などを県内各地で経営されています。

また、平成21年度「鳥取県男女共同参画推進企業」に認定されるなど、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでおられます。

女性の管理職への登用も積極的で、この4月にも新たに2人の女性が施設長となり、管理職75人中38人が女性であるとのことでした。

育児休業については、平成17年度からの取得者は61人で取得率は100%となっていて、取得期間は平均で1年1ヶ月、最長の方は2年8ヶ月取得されたそうです。

また、今年初めて男性の職員が1月から約2ヶ月間、育児休業を取得されたそうです。



積極的に第三者評価を取り入れたり、職員からも意見を求めるなどして、運営面の質の向上に努めるほか、職場の風通しをよくすることを心がけられているそうです。

全国的に離職率が高い業界にもかかわらず、厚生事業団では全国平均のほぼ半分と低く、定着率が高いとのことでした。

近年、福祉を取り巻く環境が大きく変化し、在宅志向、地域社会での自立した生活へという流れの中で、今後も地域の理解を求めていくことが必要とのことでした。

今後もより一層、男女ともに仕事と家庭との両立ができて働きやすい職場作りに取り組んでいきたいとのことでした。



編集後記

鳥取県厚生事業団について、名前を耳にしたことはありましたが、職員の方へのインタビューを通して内容も分かり、将来私もお世話になる可能性があるかもしれないのでとても参考になりました。

とても働きやすそうな職場だと感じました。 (出村)

厚生事業団の取材では、職場環境向上に様々な努力をされ、その結果同じ業種の中でも離職率のきわめて低い職場になった話を伺い感動しました。

今年は育児休業を取られた男性職員の方もあったそうで、職場の雰囲気押して知るべしです。 (岸本)

き
輝なんせ鳥取

鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311

TEL (0857) 24-2704

FAX (0857) 20-3054

E-mail danjyo@city.tottori.lg.jp

U R L <http://www.city.tottori.lg.jp>